

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハこどもデイ フクシア		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 5 月 1 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	リハビリ専門職(PT,OT)の、医学的根拠に基づく個別訓練の中で、こどもの特性に応じた訓練を受けることが出来る。	週一回のリハビリ会議にて、症例検討や勉強会、意見交換等を行い、より良い療育を目指している。	学会参加や外部研修を積極的に行い、スキルアップを図り、専門性の高い訓練を行う。
2	概ね3月に1回職員間でこどもたちのモニタリングを行い、現状の様子、成長段階に合わせて支援計画の見直しを行っている。	児童発達支援管理責任者を中心に多職種(介護福祉士、保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士等)が参加するミーティングを行い、情報収集、現場からの意見交換等を実施し、モニタリング、個別に応じた支援を踏まえて支援計画書を作成している。	年間を通して、保護者様や利用児童が見通しが持てるような提供の仕方を考えていきたい。
3	土曜、祝日まで営業していて、施設内イベントや、施設外活動を行っている。	毎回ではないが、前月のうちに来月の利用予定表と一緒にイベント内容を知らせ、色々な活動を経験してもらえるようにしている。	年間スケジュールとして、イベントも決めることが出来たら、保護者様も予定がたてやすいのではないかと考える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢層が様々で、療育を取り組む時間や内容の分け方が難しい。	高学年の利用児さんや、中高生の利用児さんの来所時間の関係から集団療育を取り組み、個別療育が出来ない場合があります。休日やイベントを利用して補う事が出来ればと思います。	営業時間の改善の検討や療育内容などの見直しなどを職員同士で考えたり、研修などに参加して対策を考えていけたらと思います。
2	親子で参加する活動や親同士の交流する機会が少ない。	事業所の事情や各家庭の事情などで、日程調整や、イベント内容の構成が難しい。	大きなイベントだけでなく、小さなイベントなどでも回数を増やし、参加できる機会を増やしていきたい。
3	避難訓練の定期的な実施、保護者様への周知が不十分。	利用児童の利用日や時間帯が異なるため、いつも、不定期になってしまう。	今後、利用児童数などに関わらず、日にちを設定し、実施後には、SNSなどで発信したら良いのではないかと提案があった。